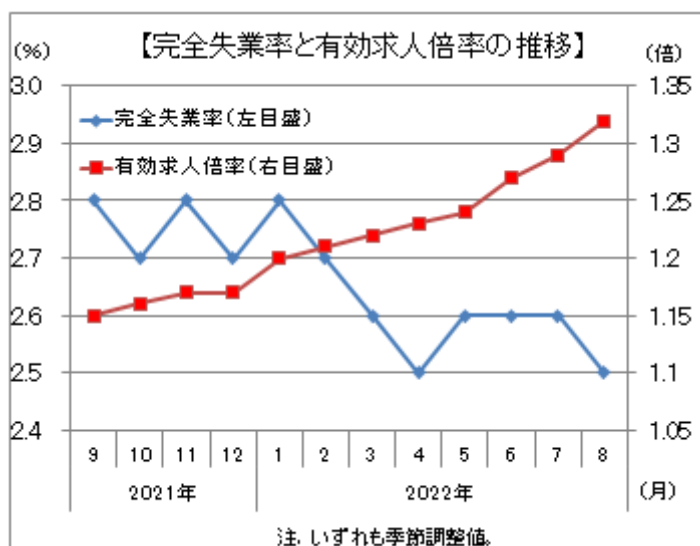


## 直近の有効求人倍率について(求職者数が減少)

### 8月の有効求人倍率1.32倍、求職者数が減少

厚生労働省が発表した8月の有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.03ポイント上昇の1.32倍となりました。1月から8カ月連続の上昇で、昨年5月以降、2度の横ばいをはさんで16カ月連続の上昇基調が続いています。上昇局面としては2016年前半の水準に並びました。

企業側の有効求人数約247万人(前年同月比14.7%増)に対して、有効求職者数は約191万人(同0.3%減)となり、求職者数の減少が求人倍率を高めている要因の一つになっています。都道府県別(就業地別)では福井県の2.04倍が最高で、最低は沖縄県の1.04倍です。



新規求人倍率は2.32倍で前月比0.08ポイントの低下。新規求人数(原数値)は前年同月比15.1%増で7月をさらに上回り、産業別では宿泊・飲食サービス業が同51.1%増、生活関連サービス・娯楽業が同28.9%増、卸売・小売業が同18.7%増となるなど、サービス業を中心にした5月以降の求人増の流れが継続しています。全11業種のうち、8業種が二ケタ増でした。

また、正社員の有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.01ポイント増の1.02倍です。

### 8月完全失業率、4カ月ぶり2.5%に低下

総務省が発表した8月の就業者数は6751万人で、前年同月比12万人増と2カ月ぶりの増加。完全失業者は177万人と同17万人の減少で、14カ月連続の減少となりました。

この結果、完全失業率(季節調整値)は前月比0.1ポイント低下の2.5%。男女別では男性が2.7%、女性が2.3%で、男性は前月比0.1ポイント低下、女性は同水準でした。2.5%は4月と同じ水準で、4カ月ぶりに低下し、完全雇用状態となっています。

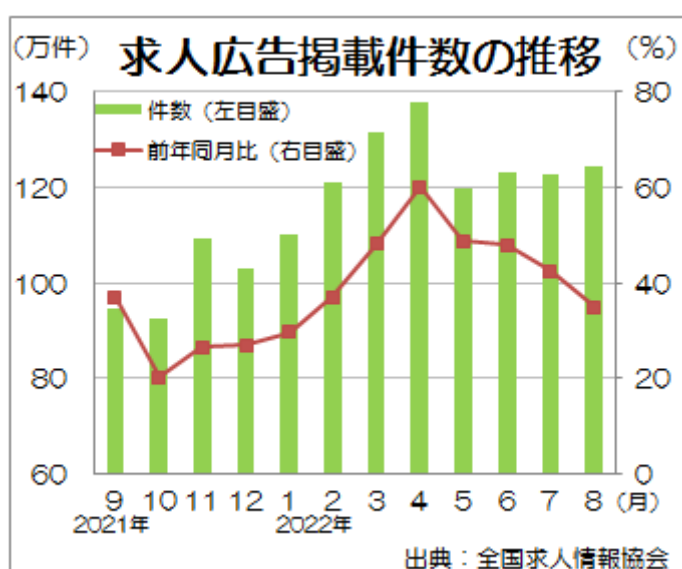
形態別雇用者数では役員を除く雇用者5710万人のうち、正規従業員は3589万人で前年同月より25万人減少、非正規従業員は2121万人で同50万人の増加。非正規率は37.1%と少し上がりました。

非正規の内訳はパートが1033万人（8万人増）、アルバイトが468万人（同31万人増）、契約が284万人（同4万人増）、派遣が149万人（同4万人増）、嘱託が107万人（同1万人増）とすべて増えました。

一方、8月の休業者は268万人で前月比10万人増、前年同月比18万人増となり、2カ月連続で200万人台が続いています。新型コロナのオミクロン株感染者が増え、自宅などでの待機が続いたためとみられます。

### 8月の求人広告は124万件、横ばい続く 全求協集計

全国求人情報協会が22日発表した8月の求人広告掲載件数（週平均・職種別合計）は、124万2112件（前年同月比34.8%増）となり、6月から3カ月連続で120万件台を続けています。ウイズ・コロナの生活様式が定着しきれず、足踏みが続いています。



職種別で見ると、「サービス」の中で「飲食店スタッフ」が週平均14万4943件（同61.8%増）、「調理スタッフ」は11万1541件（同54.2%増）、「運搬・清掃・包装」は14万7400件（同26.9%増）、最も掲載件数が多い「販売」も21万2056件（同30.7%増）となっています。

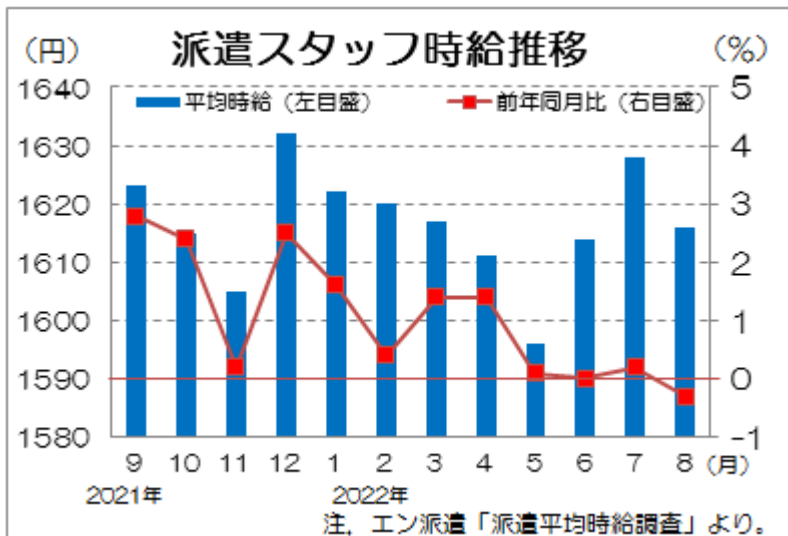
雇用形態別では、全体の8割を占めるアルバイト・パートが同34.0%増、このほか正社員が同16.1%増、契約社員が同15.2%増でした。

また、地域別では最も件数の多い関東・甲信越が同30.4%増だったほか、北海道・東北は同21.8%増、中部・北陸は同23.8%増、近畿は同32.6%増、中四国は同25.3%増、九州・沖縄が同25.7%増となりました。

### 8月3大都市圏の派遣時給は1616円 前年比、前月比ともマイナス、エン・ジャパン

エン・ジャパンが発表した8月の派遣平均時給（三大都市圏、募集時）は1616円で、前月比0.7%減、前年同月比0.3%減となりました。前月比は3カ月ぶりのマイナス、前年同月比は20年10月以来22カ月ぶりのマイナス。職種別では全職種でプラスだったが、時給の低いオフィスワーク系などの求人比率が増えたことから、平均時給はマイナスとなりました。

職種別（大分類）では、主力のオフィスワーク系が1596円（前年同月比1.7%増）と堅調。クリエイティブ系が1990円（同4.0%増）の伸びで、IT系も2399円（同2.1%増）、医療・介護系も1386円（同2.2%増）となり、全7職種でプラスです。



地域別では、関東が1692円（前年同月比0.9%減）、東海が1410円（同0.1%増）、関西が1451円（同0.9%増）となり、関東はマイナスが続いています。

3大都市圏以外では北海道が1372円（同1.5%増）、東北が1226円（同1.8%増）、北信越が1281円（同11.3%増）、中国・四国が1270円（同5.6%増）、九州・沖縄が1227円（同0.2%増）となり、6月の全地域プラスに続いて8月に再び全地域プラスとなりました。

一方、ディップが同日発表した3大都市圏の8月平均時給は1545円（同3.6%増）となり、「はたらこねっと」の求人件数は約15.8万件と同約1.3倍。3大都市圏を含む全国平均も1481円（同3.6%増）でした。